

【草花の部屋】

シベナガムラサキ (ムラサキ科シャゼンムラサキ属 *Echium vulgare*)

和名：シベナガムラサキ(蕊長紫) **別名**：エキウム **英名**：Viper's Bugloss

ムラサキ目 一年生・二年生の草本 **原産地**：ヨーロッパ北部

花言葉： **花の色**：青紫



← 写真-1 シベナガムラサキ
撮影日：2015年07月09日
撮影場所：ベルザスカ溪谷
(南スイス)にて
撮影者：M さん



→ 写真-2 シベナガムラサキ
撮影日：2015年07月09日
撮影場所：ベルザスカ溪谷
(南スイス)にて
撮影者：M さん

イタリアとの国境に近いベルザスカ溪谷を訪れた際、ベルザスカ川岸で見かけました。雑草のようでしたが、青紫色の花弁が太陽の光りに輝いていました。

名前の「シベ」は雄蕊や雌蕊を意味し、5本の雄蕊と雌蕊が花から長く突き出ており、ムラサキ科なのでこの和名がついているそうです。丈は40～80cm。日本での花期は5～6月で、青紫色の円錐花序をつけ、5本の雄蕊が花の外に突き出て、よく目立つ花です。

北アメリカやオーストラリア、日本（北海道、大阪府、兵庫県、三重県）に外来種として定着しているそうです。英語名はViper's buglossは、訳すと毒

蛇紫になり、果実の形が、ヘビの頭を連想させることからのようです。花を料理に飾ったり、葉をハーブティーにしたり、根からは染料を採ったりするそうです。

エキウムの種から抽出するエキウム・オイル (Echium Oil) が、主に化粧品業界で使用されているようです。日本では、「エキウム・ブルガレ」の名前で流通しているそうです。